

4月17日（水）学校教育研究会総会での講演会についてのアンケートより



- ・足元から自分の生活を見つめなおすための視点を頂きました。心より感謝いたします。そしてこれからの活動を応援いたします。
- ・当たり前であることを違う視点から見ることの大切さを改めて感じました。
- ・これから生きるために必要な知恵、思考ってきつとこういうことなんだろうなと思えるとても素敵なお話でした。
- ・日々のことをもう一度見つめ、自分でできることをしていきたいです。地球が長く、世界の人々が安心して暮らせるようになってほしいです。地球温暖化について、世界の人々に訴えていく団体が増えていくとよいですね。

地球が長く、世界の人々が安心して暮らせるようになってほしいです。地球温暖化について、世界の人々に訴えていく団体が増えていくとよいですね。

- ・日本に住んでいると「他人事」になってしまいがちな問題。私達「教職員」という仕事だからこそできることに全力で取り組んでまいりたいと思います。
- ・SDGsに私も参加しています。ぜひ少しでもやっていきたいと思っています。
- ・世界には昨今の環境問題を私たちよりも、より深刻に受け止めている方々がいることが分かった。少しでも自分にできることはやっといこうと思った。子どもたちにも伝えたい。
- ・キリバスに対して日本ができること、三浦ができることは何か考えさせられた。
- ・身の回りのことでだけでなく、広い視野を持って物事を考えられるようにしたいと思いました。



- ・授業でも環境について扱うことがあります。実感を持って生徒に話すことができそうです。小さなことから実践していきたいと思います。
- ・改めて子どもたちと一緒に地球温暖化、環境問題について考えていきたいと思えます。キリバスにも興味がわきました。ふるさとを残したいという言葉が心に残りました。
- ・キリバスの話や写真など驚くことばかりでした。自分ももっと知り、子供たちにも伝えたいです。

話を聞く前意識していなかった環境、地球温暖化の問題が深刻なことを、改めて強く感じることができました。これからの地球をつなげていくために、私自身も生活を見直すことはもちろん、この仕事で伝えられることを考えて日々を過ごしていきたいと思いました。

環境問題は他人事ではないとは思っていたが、最前線を見せられると何とも言えない気持ちになった。これからは、小さなことにでも取り組んでいきたい。

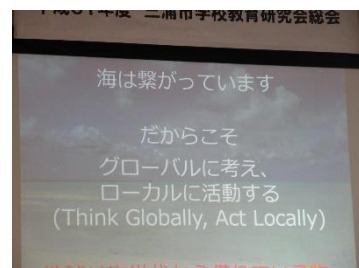
今日の講演はぜひ子どもたちに聞かせたいです。

「海はつながっている」海洋教育に取り組む際にも常に忘れずにつながっている。どこかの誰かを思いながら活動していけるといいと思いました。

目の前のことだけでなく、私たちの未来のために視野を広げて取り組んでいきたいと思う。 “グローバルに考え、ローカルに活動する”

海が繋がっているのと同じように、私たちの仕事もどこかで世界につながっていることを実感しました。

小さなことからコツコツといつも通りにやっといこう。それでいいんだと思いました。



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで